

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年12月18日(2024.12.18)

【公開番号】特開2024-4644(P2024-4644A)
 【公開日】令和6年1月17日(2024.1.17)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-009
 【出願番号】特願2022-104351(P2022-104351)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 6 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

F 2 4 C 7 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 5 B 6 / 1 2 3 0 2

H 0 5 B 6 / 1 2 3 1 2

H 0 5 B 6 / 1 2 3 1 3

H 0 5 B 6 / 1 2 3 0 4

H 0 5 B 6 / 1 2 3 2 4

F 2 4 C 7 / 0 2 3 0 1 K

F 2 4 C 7 / 0 2 3 0 1 J

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調理メニュー毎に定められた特定入力キーと、報知手段と、外部から取得したレシピデータを使用して調理を実行する制御装置と、を有し、

30

前記制御装置は、主電源投入後に、

(1) 前記特定入力キーが操作されたことを検知するキー特定工程と、

(2) 前記レシピデータが対象としている特定の調理メニューの予告信号を受信した場合、当該特定の調理メニューで定められた前記特定入力キーが、当該予告信号の受信前又は受信後に操作されているかどうかを判定する確認工程と、

を、順次実行し、

前記確認工程において前記特定入力キーの操作があったことを確認した場合は、前記予告信号を受信した後で、選択情報を発信する、

ことを特徴とする加熱調理器。

40

【請求項2】

記憶装置を、更に有し、

前記記憶装置は、調理メニュー毎に前記特定入力キーの対応情報を保有しており、

前記制御装置は、

(1) 前記調理メニューに関する予告情報を取得した場合、前記記憶装置の前記対応情報によって前記特定入力キーの中から、操作すべきものを抽出するキー判定ステップと、

(2) 前記キー特定ステップで抽出された前記特定入力キーを識別できる情報を、前記報知手段において報知する報知ステップと、を順次実行すること、を特徴とする請求項1に記載の加熱調理器。

【請求項3】

50

前記特定入力キーが操作された場合、又は前記選択情報を発信した場合、受信制限期間を開始すること、を特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

【請求項 4】

前記制御装置は、前記レシピデータの取得指令を受けた場合、許可条件を満たすかどうかの判定を行い、前記許可条件を満たさない場合には、前記レシピデータの取得を行わないこと、を特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

【請求項 5】

前記受信制限期間は、加熱調理動作を開始した場合に終了すること、を特徴とする請求項 3 に記載の加熱調理器。

【請求項 6】

前記特定入力キーは、タッチ式入力キーであり、
前記特定入力キーを備えた入力操作部は、前記特定入力キーのタッチ状態から音声入力モードの切り替え要否を判定して、音声入力モード対応信号を発すること、を特徴とする請求項 3 に記載の加熱調理器。

【請求項 7】

調理メニュー毎に定められた特定入力キーと、報知手段と、外部から取得したレシピデータを使用して調理を実行する制御装置と、を有し、

前記制御装置は、主電源投入後に、

(1) 前記特定入力キーが操作されたことを記憶し、

(2) 前記レシピデータが対象としている前記調理メニューの予告信号を受信した場合、当該調理メニューで定められた特定入力キーが、当該予告信号の受信前に操作されているかどうかを判定し、

前記予告信号で通知された調理メニューで定められた特定入力キーが、当該予告信号の受信前に操作されていた場合は、選択情報を発信する、

ことを特徴とする加熱調理器。

【請求項 8】

記憶装置を、更に有し、

前記記憶装置は、前記調理メニュー毎に前記特定入力キーの対応情報を保有しており、前記制御装置は、

(1) 前記調理メニューに関する予告情報を取得した場合、前記記憶装置の前記対応情報によって前記特定入力キーの中から、操作すべきものを抽出するキー判定ステップと、

(2) 前記キー特定ステップで抽出された前記特定入力キーを識別できる情報を、前記報知手段において報知する報知ステップと、を順次実行すること、を特徴とする請求項 7 に記載の加熱調理器。

【請求項 9】

前記特定入力キーが操作された場合、受信制限期間を開始すること、を特徴とする請求項 8 に記載の加熱調理器。

【請求項 10】

第 1 操作部と、第 1 表示部と、第 1 通信部と、加熱源と、記憶手段と、を内蔵した第 1 ユニットと、

前記第 1 ユニットに載置された第 1 の状態で、前記加熱源によって加熱調理動作が可能な第 2 ユニットと、

を備え、

前記第 2 ユニットには、第 2 表示部と、第 2 操作部と、第 2 通信部と、外部の通信機器との間で無線通信を行う無線通信部と、記憶手段と、副制御装置と、を有し、

前記第 1 ユニットには、前記無線通信部から取得したレシピデータに従って動作する主制御装置を具備し、

前記第 1 操作部と前記第 2 操作部には、それぞれ特定入力キーを有し、

前記第 1 ユニットの記憶手段又は前記第 2 ユニットの記憶手段の、少なくとも何れか一方は、調理メニュー毎に前記特定入力キーを特定する対応情報を保有しており、

10

20

30

40

50

前記副制御装置は、主電源投入後に、

(1) 前記特定入力キーの1つが操作されたことを検知する検知工程と、

(2) 前記レシピデータが対象としている前記調理メニューの予告信号を受信した場合、当該調理メニューで定められた前記特定入力キーが、前記予告信号の受信前に操作されているか、又は当該予告信号の受信後に操作されたかどうかを判定する確認工程と、

を、順次実行し、

前記確認工程において前記特定入力キーの操作があったことを確認した場合は、前記予告信号を受信した後で、選択情報を前記無線通信部から発信すること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項11】

10

通信部と、前記通信部を介して被調理物に関するレシピデータの受信を許可するための、複数の特定入力キーと、を有した加熱調理器と、

前記加熱調理器と無線通信で接続される通信端末と、を含み、

前記通信端末は、

(1) 端末側表示部において、第1画面と、第2画面と、を順次表示し、

(2) 前記第1画面には、選択された被調理物に関するレシピデータを表示し、

(3) 前記第1画面に表示された前記レシピデータを選択した場合、前記第2画面に表示を切り替え、当該第2画面において前記レシピデータの受信前に操作すべき前記特定入力キーを示した予告情報を表示し、

(4) 前記第2画面には、選択された前記レシピデータを送信できる入力キーを表示し

20

(5) 前記入力キーが操作されると、前記第1画面において選択した前記レシピデータに関する設定情報を、前記加熱調理器に送信し、

前記加熱調理器は、主電源投入後に、

(1) 前記特定入力キーが操作されたことを検知するキー特定工程と、

(2) 前記レシピデータが対象としている特定の調理メニューの前記予告情報を、前記通信端末から受信した場合、当該特定の調理メニューで定められた前記特定入力キーが、前記予告信号の受信前又は受信後に操作されているかどうかを判定する確認工程と、

を、順次実行し、

前記加熱調理器は、前記確認工程において前記特定入力キーの操作があったことを確認した場合は、選択情報を発信すること、

30

を特徴とする加熱調理システム。

【請求項12】

前記加熱調理器は、前記特定入力キーが操作された場合、その後、他の特定入力キーによる前記レシピデータの受信を制限する、受信制限期間を開始すること、を特徴とする請求項11に記載の加熱調理システム。

【請求項13】

第1操作部と、第1通信部と、加熱源と、を内蔵した第1ユニットと、

前記第1ユニットに載置された第1の状態と、前記加熱源によって加熱可能な第2ユニットと、を備え、

40

前記第2ユニットには、第2表示部と、第2入力部と、第2通信部と、外部の通信機器との間で無線通信を行う無線通信部と、を有し、

前記第2入力部には、特定入力キーを有し、

前記第1ユニットには、前記無線通信部から取得したレシピデータに従って動作する主制御装置を具備し、

前記第2ユニットは、前記第1の状態と、前記第1通信部と第2通信部との間の通信で準備状態を終えたあと、前記無線通信部から予告情報を得た場合、前記第2表示部において前記特定入力キーの操作に関する情報を表示し、当該状態で前記特定入力キーの操作が行われた場合、前記無線通信部から選択情報を発信すること、

を特徴とする加熱調理器。

50

【請求項 1 4】

複数の加熱場所で、それぞれ加熱調理できる第 1 の加熱手段及び第 2 の加熱手段と、
前記加熱場所毎に設けた複数の入力操作部と、
前記入力操作部に、それぞれ配置された特定入力キーと、
前記入力操作部に、それぞれ少なくとも 1 つずつ配置された表示部と、
外部から取得したレシピデータを使用して調理を実行する制御装置と、を有し、
前記特定入力キーは、調理メニュー毎に定められており、
前記制御装置は、主電源投入後に、

(1) 待機時初期画面を前記表示部の少なくとも 1 つに表示し、

(2) 前記待機時初期画面には、前記レシピデータの取得を開始する場合に、入力操作 10
が必要な前記特定入力キーの情報を、少なくとも 1 つを表示し、

(3) 前記待機時初期画面に表示された前記特定入力キーが操作されたことを検知する
キー特定工程と、

(4) 前記レシピデータが対象としている特定の調理メニューの予告信号を受信した場
合、当該特定の調理メニューで定められた特定入力キーが、操作されたかどうかを判定す
る確認工程と、

を、順次実行し、

更に、前記確認工程において前記特定入力キーの操作があったことを確認した場合は、
当該入力キーが配置された前記入力操作部に対応した前記表示部において、前記予告信号
を受信した後で、前記制御装置は、選択情報を発信したことを示す情報又は前記レシピ 20
データの受信工程を示す情報の、少なくとも何れか 1 つを表示すること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 1 5】

前記待機時初期画面を表示している段階で、前記制御装置は、連携調理モードを選択す
る第 1 入力キーと、複合調理モードを選択する第 2 入力キーの、両方の入力機能を有効に
し、

前記第 1 入力キー又は前記第 2 入力キーの少なくとも何れか一方は、前記特定入力キー
を兼ねていることを特徴とする請求項 1 4 に記載の加熱調理器。

30

40

50